

商学部

教授 太田 和博

高校までの授業科目は理系と文系に分けられています。ところが、大学に入ると、授業科目は3つの科学に分類されています。それは、自然科学、社会科学そして人文(じんぶん)科学です。それぞれを英語で表現してみましょう。自然科学はNatural Scienceで、自然(Nature:ネイチャー)を科学的に分析する学問です。同様に社会科学はSocial Scienceで、社会(Society:ソサイエティ)を科学的に分析します。それでは、人文科学は英語でどのように表現するのでしょうか?このように問かけると、Human Scienceと答える人もいます。正解はHumanity and Literatureです。直訳すると、「人間性と文学」になります。なので、人文(じんぶん)であって、「じんもん」ではありません。Humanityは人間はどのような存在であるのかを思索することを意味します。三理一哲(倫理、論理、心理、哲学)は代表的な科目になります。宗教もこの範疇に入ります。心の問題です、いかに生きるべきかを思索することになります。Literatureは単に文学を指しているのではなく、音楽や絵画、彫刻なども含んだ芸術、つまりは人間の創造性の発露を意味しています。ここで重要であるのは、HumanityとLiteratureは科学として分析できるものではないことです。

さて、欧州で最も尊敬されているのは詩人(poet)です。それは究極の簡素な言葉で人間の想像力を最大限発揮しているからです。日本では、俳人ということになりますね。小説家はその想像力を駆使して、小説を執筆します。けれども、多くの小説家は自分自身のもしくは他人の体験や歴史上の事実などから学んで、つまりは実世界の事実から着想を得て小説を書いています。しかしながら、真に尊敬されるべき小説家とは自らの想像力だけで、物語を語れる人です。誰も聞いたこともなく、読んだこともない物語を語るStoryteller、彼ら/彼女らこそが尊敬されるのです。

平易で読みやすく、しかし人間の創造性が発揮されていることを楽しめる作品として、村上春樹の『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』を推薦します。



村上春樹(1985)『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』新潮社
本 館: K/913.6/Mu43 106634355
神 田 分 館: K/913.6/Mu43 701659906